

高校生ロボットセミナー発表会

令和5年8月29日

8月29日（火）に尼崎商工会議所で「高校生ロボットセミナー発表会」が開催されました。この催しは、新たなロボット開発についてのアイデアをプレゼンテーション形式で発表するもので、尼崎経営者協会様、高丸工業株式会社様が中心となって17年前から毎年開催されているものです。

今回も、県内各地の応募者の中から選出された高校生たちが集まり、自分の考えたロボットの考案理由、制作方法、使用方法、そして、安全対策や経済効果、販売価格まで、根拠も添えながら堂々と説明していました。

高丸様の話によると、日本は世界一のロボット生産国で、世界中のロボットの60%が日本製だそうです。日本がこれからも世界をリードしていくためにもロボットに強い人材育成が重要だとのことでした。

本校からは、普通科3年の小西湧也くん、電気情報科1年の伊藤楓くんの2人の情報技術部の生徒が選出され、発表に臨みました。小西君は、「過酷な環境下にある砂漠でロボットが緑化作業をしてくれたら人々がどれだけ助かることだろう」との思いから「砂漠化防止改善ロボット」の構想を発表しました。伊藤君は、「火災消火や人命救助ができるロボットを現場で活用して多くの人命を救いたい」という願いから「火災消火・人命救助ロボット」を考案しました。

「世界の人々のために」という願いから「ロボットへの夢」を膨らませる、素晴らしい企画であり、発表の数々でした。2年の藤本直成くんと1年の石原直麒くんは丁寧に司会進行を務めてくれました。お疲れさま。ありがとう。

